



犯罪手口票記載例及取扱心得

(昭和十年十一月十四日)

犯罪手口票記載例及取扱心得

第一條 被疑者原紙(以下單三原紙稱ス)及被害通報票(以下單三通報票稱ス)ハ孰レ

モ刑事警察上各般ノ重要ナル基礎資料ニ供セラルベキモノナルヲ以テ之ガ作成ニ當リテハ嚴密ナル調査ヲ遂ケ内容ノ正確ヲ期スベシ

第二條 原紙及通報票ハ當該事件取扱ノ司法主任之ヲ作成スベシ

第三條 原紙、通報票其ノ他犯罪手口票ハ「ペン」及「インク」ヲ以テ明瞭ニ記載スベシ

第四條 原紙表面ノ各欄ハ左ノ例ニ依リ記載スベシ

一 上欄 生年、身長、体格、罪別、種別、類別、手口番號及最下

欄ノ各欄ハ犯罪情報集中廳（中以下單ニ集）ニ於テ之ヲ記入シ又ハ捺印スベシ

ニ、氏名欄ニハ事件送致書記載ノ氏名ヲ記入シ讀方ノ特殊ナルモ  
ノニハ振假名ヲ附スベシ

三、異名欄ニハ本名以外ノ通稱、俗稱、綽名及偽名ノ全部ヲ記入  
スベシ

四、性別欄ニハ男女ノ別ヲ記入スベシ

五、身分欄ニハ有位帶勲者及華士族ニ限り其ノ種別ヲ記入スベシ

六、住所欄ニハ同居者ナルトキハ何某方ヲ記入シ住所不定ナルトキ

ハ其ノ旨記載シ括弧内ニ最近ノ住所ヲ記入スベシ

七、職業欄ニハ檢學當時ノ職業ヲ記入シ無職ナルトキハ其ノ旨記

載シ括弧内ニ最近ノ職業ヲ記入スベシ

八、犯行手口欄ニハ別紙第一號表ニ基キ左ノ例ニ依リ記入スベシ

(一) 犯行場所欄ニハ犯罪ノ實行サレタル場所ヲ記入スベシ若シ  
一犯行ニシテ其ノ場所ニ箇所以上ニ亘ルトキハ共ニ之ヲ併  
記スベシ

(二) 侵入口欄ニハ「應接室（箇所）」ノ硝子窓（種別）ヨリシ  
等ノ例ニ依リ實際屋内ニ侵入シタル箇所ヲ記入スベシ若シ  
其ノ他ニモ未遂ニ終リタル箇所アリタルトキハ未遂トシテ  
括弧ヲ附シ共ニ之ヲ併記スベシ

(3) 侵入方法欄中第一次欄ニハ「電柱ヲ傳ヒシテ物干場ニ上リ  
等ノ例ニ依リ屋内ニ侵入スルマデノ豫備的方法ヲ記入シ第  
二次欄ニハ實際屋内ニ侵入シタル方法ヲ記入シ用具欄ニハ  
侵入ニ際シ使用シタル器具類ノ全部ヲ記入スベシ若シ其ノ  
他ニモ未遂ニ終リタル方法アリタルトキハ未遂トシテ拵狐  
ヲ附シ共ニ之ヲ併記スベシ

(4) 暴力手段欄ニハ暴行脅迫ノ手段ヲ記入スベシ若シニ手段以  
上ニ及ビタルトキハ共ニ之ヲ併記スベシ

(5) 犯行時欄ニハ「朝」「日没頃」又ハ「深夜」等ノ例ニ依  
リ概念的時刻ヲ記入スベシ

(6) 共犯欄ニハ共犯者ノ有無ヲ記入スベシ但シ共犯者有ル者ニ  
付テハ其ノ氏名ヲ記入シ氏名判明セザルトキハ人員並男女  
別ヲ記入スベシ

(7) 風体欄ニハ「見」「會社員」「風」「遊人」「風」「行商人」「風」  
等ノ例ニ依リ直感的風采ヲ記入スベシ

(8) 語話欄中自稱欄ニハ犯人自稱ノ身分ヲ記入シ語題欄ニハ「  
身ノ上語」「商取引ノ語」又ハ「ロケーションノ語」等  
ノ例ニ依リ犯人ノ物語リタル語ノ要點ヲ記入スベシ若シ語  
題ニシテ二種以上ニ及ブトキハ從タル語題ニハ拵狐ヲ附シ  
共ニ之ヲ併記スベシ

(9) 目的物欄ニハ犯行ノ目的トシタル金品ノ種目ヲ記入スベシ

シ若シ其ノ種目ニ種以上イルトキハ共ニ之ヲ併記スベシ

(10) 特癖欄ニハ犯罪手口上犯人ノ特癖ト認メラルル行為ヲ記入スベシ

若シ其ノ特癖ニ種以上ニ亘ルトキハ共ニ之ヲ併記スベシ

以上各欄中犯罪ノ性質上不要ノ欄ニハ記入ヲ要セス

### 九、犯罪事實欄中

(1) 犯罪名欄ニハ「強盗」  
「強盗殺人」  
「窃盗」  
又ハ「詐欺」

等ノ例ニ依リ犯罪ノ種別名ヲ記入スベシ

(2) 手口名欄ニハ別紙第一號表ニ依リ「押入り」  
「空巢狙」  
「刺

盗」  
又ハ「籠拔ケ」等ノ例ニ依リ手口ノ種別名ヲ記入ス

ベシ

(3) 日時欄ニハ夫々該當事實ヲ記入スベシ但シ備考欄ニハ犯行

ノ當日又ハ其ノ前後ニ於テ祭禮、市日、縁日其ノ他冠婚葬

祭等記憶ノ對象トナルベキ事アラバ其ノ事實ヲ記入スベシ

(4) 場所欄ニハ當該現場ノ所番地ヲ記入スルノ外別紙第一號表

第一欄下ノ記載事項中該當スル種目ヲ夫々所定欄ニ記入ス

ベシ若シ其ノ種目ニ種以上ニ該ルトキハ共ニ之ヲ併記スベ

シ

(5) 被害者欄ニハ夫々當該事項ヲ記入スベシ

(6) 行為欄ニハ犯罪ノ構成要素ヲ簡明ニ記載スルト共ニ手口ノ

特徴ト認メラルル行爲ヲ明記スベシ尚詐欺犯ニアリテハ其ノ語り話シニ依リ犯人ノ人格又ハ職業關係等ヲ推知シ得ルモノナルヲ以テ此ノ点ニ留意記載スベシ

(1)備考欄ニハ餘罪ノ摘録又ハ参考事項ヲ記入スベシ

十、人相欄ニハ身長ヲ記入スルノ外該當種目ニ夫々朱点ヲ施シ之ヲ指示スベシ

十一、特徴欄ニハ別紙第四號表ニ依リ該當種目ヲ夫々所定欄ニ記入スベシ

十二、習癖欄ニハ「歩行ニ際シ両手ヲ後ニ組ム癖アリ」「對話ニ際シ手ニテ口ヲ覆フ癖アリ」等ノ例ニ依リ記入スベシ

十三、作成欄ニハ作成ノ年月日及作成ノ課署名ヲ記入シ司法主任及課署長之ニ捺印スベシ

十四、傷痕欄ニハ被疑者ノ寫真撮影ノ有無ヲ表示スベシ

第五條 原紙裏面ノ各欄ハ左ノ例ニ依リ記載シ又ハ押捺セシムベシ

一、指紋印象欄中

(1)迴轉印象欄ニハ所定ノ欄ニ當該指頭ヲ出來得ル限り迴轉シテ押捺セシムベシ

(2)平面印象欄ニハ所定ノ欄ニ拇指ヲ除キタル四指ヲ揃ヘタル儘押捺セシムベシ

本欄ノ指紋ハ指紋ヲ犯罪ノ手口別ニ分類整理スルコトニ依リ  
將來現場指紋ノ對照資料ニ供セラルベキモノナルヲ以テ最モ  
鮮明ナル印象ヲ得ルコトニ留意スベシ

ニ自署欄ニハ被疑者ヲシテ自稱ノ氏名ヲ自署セシムベシ若シ自  
署スルコト能ハザルトキハ原紙作成者ニ於テ其ノ事由ヲ記入  
スベシ

三生立欄ニハ幼時ニ於ケル養育者並生活狀態其ノ他本人ノ生立  
ニ關シ環境上參考トナルベキ事項ヲ記入スベシ

四教育欄ニハ既往ニ於テ履習シタル學歷及現在ニ於ケル學力ノ  
程度ヲ記入スベシ

五兵役欄ニハ兵役關係ノ有無ヲ記入スベシ但シ兵役關係アル者  
ニ付テハ服役ノ種別、兵種及階級等ヲ記入スベシ

六職歴欄ニハ過去及現在ノ職業並其ノ從業期間ヲ記入スベシ

七趣味欄ニハ文藝、美術、音樂、演劇、映画、野球、競馬、圍  
碁、將棋、撞球、麻雀等趣味娛樂ニ關スルモノヲ全部記入ス  
ベシ

八前科欄ニハ前科ノ有無ヲ記入スベシ但シ前科アル者ニ付テハ  
其ノ罪名及犯數ヲ記入スベシ

九親族欄及知友欄ニハ孰レモ親交者ヨリ順次所定欄ニ記入スベ  
シ

前第六號、第七號及本號ノ事項ハ孰レモ將來立廻先手配資料ニ  
供セラルベキモノナルヲ以テ此ノ点ニ留意記載スベシ

十、贓物欄中

(イ)運搬具欄ニハ自轉車、自動車、荷物自動車、リヤカー、乳  
母車又ハ舟等犯行現場ヨリ贓物ノ運搬ニ使用シタルモノヲ  
記入スベシ

(ロ)處分欄ニハ改造シテ又ハ其ノ儘「入質ス」、「古物商ニ賣却  
ス」、「情人ニ贈與ス」、「自身所持ス」等ノ例ニ依リ贓物ノ  
處分方法ヲ記入スベシ

(ハ)費途欄ニハ「酒色費」、「賭博ノ資金」、「債務ノ返済」

「生計費」等ノ例ニ依リ其ノ費途ヲ記入スベシ

十一、犯行動機欄ニハ「治療費ニ窮シテ」、「出來心」、「失職ノ爲メ

生計困難ニ陥リ」等ノ例ニ依リ犯行ノ動機トナリタル直接間

接ノ原因ヲ記入スベシ但シ職業的犯罪者、犯罪常習者ニ付テ

ハ其ノ旨ヲ附記シ之ガ記入ヲ要セス

十二、檢舉欄ニハ夫々當該事項ヲ記入シ又ハ朱示スベシ但シ本欄中

端緒欄ニハ告訴、告發、自首、密告、現認、舉動不審等檢舉

ノ端緒トナリタル事實ヲ記入スベシ

第六條 通報票表面ノ各欄ハ左ノ各號ヲ除ク外前第四條原紙表面

記載例ニ準ジ之ヲ記載シ又ハ朱示スベシ但シ事實不明ノ爲メ所



定欄ニ記入又ハ未示スルコト能ハザルモノハ「不明」ト記入ス  
ベシ

一上欄被害發生通報欄ニハ「強盜」「強盜殺人」「窃盜」又ハ

「詐欺」等ノ例ニ依リ犯罪ノ種別名ヲ記入シ同時ニ通報ノ年

月日及通報署名ヲ記入スベシ

ニ中欄犯人欄中着衣欄ニハ頭部ヨリ順次足部ニ其ノ着用物ヲ記

入スベシ

第七條 通報票裏面ノ各欄ハ左ノ例ニ依リ記載スベシ

一被害金品欄中

(1) 物品欄ニハ左ノ例ニ依リ記入スベシ

(1) 種別欄ニハ「懐中時計」「拳銃」「債券」又ハ「三ツ紋

女羽織」等ノ例ニ依リ贓品ノ種別ヲ記入スベシ

(2) 地質欄ニハ「金側」「銀側」「金地」「銀地」「紙地」

「絹地」又ハ「錦紗地」等ノ例ニ依リ地質ノ種別ヲ記入

スベシ

(3) 型、紋又ハ模様欄ニハ「十ハ型」「幌型」「蒲鉾型」「

菊ノ浮刻アルモノ」「圓ニ桔梗ノ染紋」又ハ「孔雀ノ裾

模様」等ノ例ニ依リ直感的特徴ヲ記入スベシ

(4) 製作又ハ發行所者欄ニハ「何々會社製」「應學筆」又ハ

何々銀行發行」等ノ例ニ依リ記入スベシ

(ホ) 番號又ハ記號欄ニハ被害品ニ記銘シアル製造又ハ發行等ノ番號記號ヲ記入スベシ

(ヘ) 重量欄ニハ指輪又ハ寶石類ノ重量ヲ記入スベシ

(ロ) 特徴欄ニハ「示時板ⅡトⅢトノ間ニ米粒大ノ瑕アリ」  
「何々ノ箇所ニ修理痕アリ」  
「右袖口ノ箇所ニ大豆大ノ焼痕アリ」  
「裏ハ白朽ニ重地ニ赤ノ市松模様」等ノ例ニ依リ出來得ル限り詳細ニ其ノ特徴ヲ記入スベシ

(リ) 時價欄ニハ被害當時ノ賣買價額ヲ記入スベシ  
本欄記入ノ被害品ハ將來各疑職品ノ對照資料ニ供セラルベキモノナルヲ以テ他ノ同種ノモノト正確ニ識別シ得ル確固

不動ノ特徴ヲ捕捉スルコトニ留意スベシ

(2) 現金欄ニハ其ノ種別、枚數、金額ヲ記入シ紙幣番號其ノ他特徴ノ判明セルモノハ之ヲ記入スベシ

六 遺留欄ニハ遺留ノ有無ヲ記入スベシ但シ遺留有ルモノニ付テハ其ノ種別、特徴及發見箇所ヲ記入スベシ

三 被疑者欄ニハ判明シタル被疑者ノ氏名、異名、年齢、職業、

前科及立廻見込先ヲ記入スベシ

前項ノ被疑者ニ付テハ集中廳ニ於テ又ハ指紋原紙保管廳ニ照

會シテ當該指紋原紙保存ノ有無ヲ調査シ若シ有リタルトキハ

之ニ所犯事項ヲ記入手配シ將來前科調査ノ爲メ指紋原紙保管

リタル際他ノ廳府縣ニ於テ當該被疑者ヲ拘束中ナルコト判明  
シタルトキハ其ノ旨而廳府縣ニ速ニ通報スベシ

四、中欄ノ餘白ハ衣類ノ紋其ノ他被害品ノ特徴又ハ現場ノ圖解説  
明、備考的記事若ハ通信文欄等ニ使用スルモノトス

五、臨檢者欄ニハ現場ニ臨檢シタル所轄署員、刑事課（部）員及  
裁判所員ノ各官職氏名ヲ記入スベシ

第八條 第四條第一號ニ依リ集中廳ニ於テ記入スベキ原紙及通報  
票ノ各表面上欄ハ左ノ例ニ依リ記載スベシ

一、生年欄ニハ紀元何年生ノ例ニ依リ出生年ニ該當スル皇曆年ノ  
数字ヲ記入スベシ

二、身長及体格ノ各欄ニハ夫々當該數字ヲ記入シ又ハ該當種目ヲ  
朱示スベシ

三、罪別、種別及類別ノ各欄ニハ別紙第三號表ニ依リ夫々該當種  
目ヲ記入スベシ但シ其ノ記載例ハ左ノ各號ニ依ルベシ

(イ) 罪別欄ノ上欄ニハ「盜犯」又ハ「詐欺犯」等ノ例ニ依リ犯  
罪ノ種別名ヲ記入シ其ノ下欄ニハ之ニ該當スル表示番號ヲ  
「1」又ハ「2」等ノ例ニ依リ記入スベシ

(ロ) 種別欄ノ左側上欄ニハ「侵入強盜」或ハ「侵入盜」或ハ「屋外強  
盜」或ハ「拘摸」又ハ「賣付ケ」或ハ「借倒シ」等ノ例ニ依リ犯罪  
手口ノ大分類名ヲ記入シ其ノ下欄ニハ之ニ該當スル表示番

號ヲ「1」「3」「5」等ノ例ニ依リ記入スベシ

(ハ) 前欄ノ右側上欄ニハ「押入り」「空巢狙」「剽盜」「茄子

環外シ」又ハ「盪廻シ」「三卷」等ノ例ニ依リ犯罪手口ノ

中分類名ヲ記入シ其ノ下欄ニハ之ニ該當スル假名「オシイ

リ」「アキスネライ」「ヒヨウトウ」「ナスカンハヅシ」

又ハ「トライマワシ」「サンシヤ」等ノ例ニ依リ記入スベ

シ

(ニ) 前欄ノ下欄ニハ更ニ別紙第六號表ニ依リ前記假名ニ該當ス

ル換數番號ヲ「1319」「123591」「68141」

「5320643」又ハ「491783」「3083」等

ノ例ニ依リ記入スベシ

但シ前項ノ假名及換數番號ニシテ五位以上ニ及ブトキハ之

ヲ五位ニ止メ若シ五位ニ滿タザルトキハ「0」ヲ添へ五位

トシテ記入スベシ

例

金庫		20286
盗		17200

(ホ) 類別欄ノ上欄ニハ「焼切」「列車内」又ハ「演藝」等ノ例

ニ依リ侵入方法、犯行場所又ハ詐欺犯人ノ物語リタル話題

等犯行手口ノ小分類ヲ記入シ其ノ下欄及最下欄ニハ前號種

別欄ト同様ニ之ニ該當スル假名及換數番號ヲ記入スベシ

四 手口番號欄中

(1) 左側ノ上位欄ニハ罪別欄下ノ番號ヲ記入シ其ノ次欄ニハ種別欄中左側欄下ノ番號ヲ記入スベシ

(2) 右側ノ下欄ニハ種別欄中右側欄下ノ換數番號ヲ記入シ其ノ上欄ニハ類別欄下ノ換數番號ヲ記入スベシ

例

手口番號	罪別	種別	類別			換數		
			左側	右側	下欄	上欄	右側	左側
1	侵入窃盗	空巢狙	3	8	1	3	0	0
2	窃盗	黄村ケ	4	6	3	0	0	0
		ちば師	3	8	1	3	0	0
		黄村ケ	4	6	3	0	0	0
		ちば師	3	8	1	3	0	0
		黄村ケ	4	6	3	0	0	0

第九條 原紙及通報票ハ左ノ方法ニ依リ各別ニ整理保存スベシ

一 手口番號中先ツ左側二位ノ番號ニ依リ番號別ニ分類スルコト

二 前號ノ番號同數ノモノハ右側下欄(分母)ノ番號ニ依リ小ナル數ヨリ順次大ナル數ニ排列整理スルコト

三 前號ノ番號同數ノモノハ更ニ上欄(分子)ノ番號ニ依リ小ナル數ヨリ順次大ナル數ニ排列整理スルコト

四 前號ノ番號亦同數ナルトキハ種別欄及類別欄ノ假名ノ五十音順ニ排列整理スルコト

五 以上ノ方法ニ依ルモ尚同一番號ノモノニ枚以上アルトキハ更ニ左ノ方法ニ依リ整理スルコト

(1) 生年數ニ依リ小ナル數ヨリ順次大ナル數ニ排列整理スルコト

(2) 前號ノ生年數同數ナルトキハ身長ニ依リ小ナル數ヨリ順次

大ナル數ニ排列整理スルコト

(3) 前號ノ身長數亦同數ナルトキハ更ニ体格ニ依リ小ナル數ノ

ヨリ順次大ナル數ニ排列整理スルコト

六別紙第一號表、第二號表及第三號表ノ列記種目中該當スルモ

ノナク其他トシテ括弧内ニ當該種目ヲ記入シタルモノハ假ニ

其ノ種目名ニ依リ分類シ別ニ整理スルコト

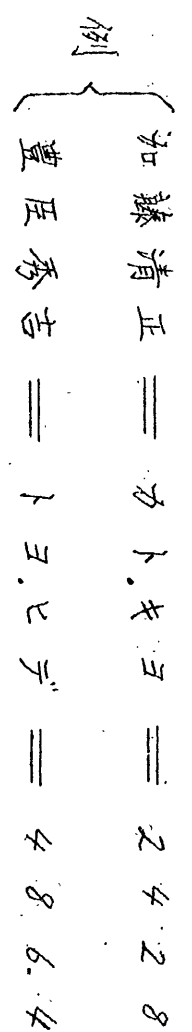
第十條 原紙ニ基キ作成シタル氏名票、異名票及手口別寫真票ハ

左ノ方法ニ依リ夫々整理保存スベシ

一 氏名票及異名票ハ孰レモ別紙第六號表ニ依リ附シタル姓、名

各ニ音位ノ換數番號ヲ一括シタル氏名番號ニ依リ小ナル數ヨ

リ順次大ナル數ニ排列整理スルコト



二 手口別寫真票ハ先ツ男女別ニ分類シ更ニ前條ノ原紙及通報票

ト同様ノ方法ニ依リ整理スルコト

第十一條 通報票ニ基キ作成シタル被害者氏名票及贓品票ハ左ノ

方法ニ依リ夫々整理保存スベシ

一被害者氏名票ハ前條第一號ニ依ル氏名票及異名票ト同様ノ方

法ニ依リ氏名番號順ニ整理スルコト

ニ贓品票ハ左ノ方法ニ依リ整理スルコト

(イ)別紙第五號表ニ依リ贓品ノ種別番號別ニ分類スルコト

(ロ)種別番號同數ノモノハ地質別、型紋又ハ模様別、製作又ハ

發行所者別ノ順序ニ依リ各別ニ分類整理スルコト但シ贓品

ニシテ番號又ハ記號ヲ附シアルモノハ其ノ番號又ハ記號順

ニ整理スルコト

附則

本令ハ昭和十一年 月 日ヨリ之ヲ施行ス